

## 2023年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
国語	論理国語	2	2年次	高市道弘・土橋芳範・齊藤裕子			
選択するときの条件	2年次に全員共通履修						
使用教科書	(数研出版) 精選 論理国語	使用副教材	(数研出版) 「精選 論理国語 準拠ワーク」 (第一学習社) 「新訂総合国語便覧」 (桐原書店) 「入試漢字コア2800改訂版」				
科目の目標			道徳教育のねらい				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。				
学習活動内容		育てたい6つの力(資質・能力)					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自他認知 ・協働力	計画 実行力
1	学ぶということ	◎	○				○
2	具体と抽象		○	◎	○		
3	普遍的な言葉	○		○	◎		
4	近代と現代の視点			◎	○		○
5	情報と社会		◎	○		○	
6	思考の枠組み	○		◎	○		
7	考えの表出		○		◎	○	
8	異文化と普遍	○			○	◎	
9	情報と知性	○		○		◎	
10	環境と人間			◎	○	○	
11	思索の深化			◎	○	○	
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
24							
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度			
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。			
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。						
	A: 目標に対する到達度が70%~100%		B: 目標に対する到達度が45%~69%		C: 目標に対する到達度が0%~44%		
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組	提出物	考査		
	知識・技能	○	○	◎	◎		
思考・判断・表現	○	○	◎	◎			
主体的に学ぶ態度	◎	◎	○	○			

# 論理国語 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況			
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容	単元実施時数		実施反省		
				読む	書く			
前 期	4 (5)	・オリエンテーション (1)  ・学問の発見 (4)	・論理国語の学びの目的と学習の概要を理解する。  ・筆者の考えを捉え、自分の経験と照らし合わせて思考を深める。	・授業についてのガイダンス  ・筆者の考えを根拠とともに読み取る。知識を取り出せた経験について説明する。	1 2	2		
	5 (5)	・手の変幻 (3) ・「内的成長」社会へ (2)	・哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解する。	・「手」についての逆説的主張を読み取る。 ・「中間社会」の現状と課題を読み取る。	2 1	1		
	6 (4)	・国境を越える言葉 (3)	・外国の言葉や表現の概念を理解する。	・言葉の性質について筆者の考えを読み取る。	3			
	前期中間考査 (1)				1			
	7 (8)	・未来世代への責任 (3)  ・〈近代〉の入口と出口の間 (5)	・環境問題について筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。 ・「問題の本質」及び「知識循環型社会」について筆者の考えを読み取る。	・文章を踏まえつつ「未来世代への責任」という題で自分の考えを書く。 ・筆者の主張を理解し、説明する。	2 4	1 1		
	8 (5)	・弱いつながり (5)	・筆者の主張を踏まえ、「絆」について考えを深める。	・「弱い絆」をつくるにはどうしたらよいか、自分の考えをまとめる。	1	4		
	9 (6)	・疑似群衆の時代 (5)	・筆者の主張を踏まえ、「群衆」と社会の在り方について考えを深める。	・「待機する群衆」の潜在力について自分の考えを説明する。	3	2		
	前期期末考査 (1)				1			
	後 期	10 (7)	・偶然とは何か (4)  ・野生の「クジラ」と人間の「鯨」 (3)	・「偶然」の持つ価値について考えを深める。 ・「環境倫理」と「〈環境道徳〉」との関係を理解し、環境問題の考察における新たな視座を獲得する。	・筆者の主張を踏まえ「偶然」の価値を考え、説明する。 ・「環境倫理」と「〈環境道徳〉」との関係を説明する。	2 2	2 1	
		11 (11)	・「である」ことと「する」こと (5) ・「手」の言葉 (5)	・「である」「する」という言葉から導かれる筆者の問題意識を読み取る。 ・『手』の言葉に関する意見を読み取る。	・「である」「する」という言葉から導かれる筆者の問題意識を読み取り、説明する。 ・具体的な作品を選び、特徴などを筆者の意見と関連付けながらまとめる。	4 3	1 2	
後期中間考査 (1)				1				
12 (7)		・日本語は非論理的か (4)  ・日本的論理 (3)	・日本語でのコミュニケーションにおける「論理」について筆者の主張を読み取る。 ・「線的論理」「点的論理」について読み取り、日本語の論理について考えを深める。	・筆者の主張を踏まえ、コミュニケーションの有様について具体的に考え、説明する。 ・文章の比較、考察を踏まえて、日本語の表現やコミュニケーションについて論述する。	3 1	1 2		
1 (4)		・「安楽」への全体主義 (4)	・筆者の主張を理解し、それが現代にも当てはまるかどうか批判的に考察する。	・「全体主義」という語の意味を踏まえ「安楽」への全体主義という表現の意味を説明する。	1	3		
2 (4)		・「いき」の美学 (3)	・「いき」の美意識について筆者の主張を読み取り、現代の日本人の美意識について考察する。	・筆者の主張を参考に、現代の日本人の美意識について考察し、説明する。	1	2		
後期期末考査 (1)				1				
3 (4)		・報告書を書く (4)	・文章構成を工夫したり、簡潔で正確な表現を用いたりする。	・適切な表現の仕方を書く。		4		